

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公開番号】特開2009-130397(P2009-130397A)

【公開日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2007-299835(P2007-299835)

【国際特許分類】

H 04 N 5/63 (2006.01)

H 04 N 5/44 (2011.01)

H 04 N 5/445 (2011.01)

【F I】

H 04 N 5/63 Z

H 04 N 5/44 Z

H 04 N 5/445 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月17日(2010.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の表示部と、第2の表示部と、前記第1の表示部の制御を行う第1の制御部と、前記第2の表示部の制御を行う第2の制御部と、前記第1の制御部からアクセス可能な第1のメモリと、前記第2の制御部からアクセス可能な第2のメモリと、を備える表示装置において、

前記第2の制御部の起動に要する時間は、前記第1の制御部の起動に要する時間よりも短く、

前記表示装置を電源ON状態からスタンバイ状態にする指示を受信すると、

前記第2の制御部から、前記第1の制御部に対して電源OFF要求を送信し、

前記第1の制御部が、前記電源OFF要求に応答して、予め定められた前記第2の表示部で表示すべき情報を、前記第1のメモリから読み出して前記第2の制御部へ送信した後、自身の電源をOFFし、

前記第2の制御部が、前記第1の制御部から受信した前記第2の表示部で表示すべき情報を前記第2のメモリに保存した後、自身の電源をOFFすることにより、前記表示装置を前記スタンバイ状態にし、

前記スタンバイ状態において、前記表示装置を電源ON状態にする指示を受信すると、前記第2の制御部の電源をONし、前記第2の制御部は、電源がONされると前記第1の制御部に電源ON要求を出力するとともに、前記第2のメモリから前記第2の表示部で表示すべき情報を読み出し、前記第2の表示部に表示させることを特徴とする表示装置。

【請求項2】

第1の表示部と、第2の表示部と、前記第1の表示部の制御を行う第1の制御部と、前記第2の表示部の制御を行う第2の制御部と、前記第1の制御部からアクセス可能な第1のメモリと、前記第2の制御部からアクセス可能な第2のメモリと、を備える表示装置において、

前記第2の制御部の起動に要する時間は、前記第1の制御部の起動に要する時間よりも

短く、

前記表示装置を、電源ON状態からスタンバイ状態にする指示を受信すると、

前記第2の制御部が、前記第1の制御部に対して電源OFF要求を送信した後、自身の電源をOFFし、

前記第1の制御部が、前記電源OFF要求に応答して、予め定められた前記第2の表示部で表示すべき情報を前記第1のメモリに保存した後、自身の電源をOFFすることにより、前記表示装置を前記スタンバイ状態にし、

前記スタンバイ状態において、前記表示装置を電源ON状態にする指示を受信すると、前記第2の制御部の電源をONし、前記第2の制御部は電源がONされると、前記第1の制御部に電源ON要求を出力し、

前記第1の制御部が、前記電源ON要求に応答して、前記第1の制御部の起動処理に先立ち、前記第2の表示部で表示すべき情報を前記第1のメモリから読み出して前記第2の制御部に送信し、

前記第2の制御部が、前記第1の制御部から受信した、前記第2の表示部で表示すべき情報を、前記第2のメモリに保存するとともに前記第2の表示部に表示させることを特徴とする表示装置。

【請求項3】

前記第2の表示部で表示すべき情報が、前記第1の制御部が前記電源OFF要求を受信した際に前記第1の表示部で表示していた映像の放送元についての情報または、前記第1の制御部が前記電源OFF要求を受信した際の音量についての情報を含むことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の表示装置。

【請求項4】

前記第2の制御部が前記第1の制御部に電源ON要求を出力してから、前記第1の制御部から起動処理の完了が通知されるまでの間に、前記映像の放送元または前記音量を変更する指示を受けると、前記第2の制御部は、変更後の前記映像の放送元または前記音量についての情報を前記第2の表示部に表示させるとともに、前記第2のメモリに保存し、

前記第1の制御部は、前記第2の制御部からの電源ON要求を受けた後、起動処理が完了すると、前記起動完了通知を前記第2の制御部に送信し、

前記第2の制御部は、前記第1の制御部からの起動完了通知に応答して、前記第2のメモリから前記変更後の前記映像の放送元または前記音量についての情報を読み出して、前記第1の制御部に送信し、

前記第1の制御部は、前記第2の制御部から受信した前記変更後の前記映像の放送元または前記音量についての情報に基づいて、前記映像の放送元または前記音量を変更する制御を行うことを特徴とする請求項3に記載の表示装置。

【請求項5】

第1の表示部と、第2の表示部と、前記第1の表示部の制御を行う第1の制御部と、前記第2の表示部の制御を行う第2の制御部と、前記第1の制御部からアクセス可能な第1のメモリと、前記第2の制御部からアクセス可能な第2のメモリと、を備え、前記第2の制御部の起動に要する時間は、前記第1の制御部の起動に要する時間よりも短い表示装置の制御方法であって、

前記表示装置を、電源ON状態からスタンバイ状態にする指示を受信すると、

前記第2の制御部が、前記第1の制御部に対して電源OFF要求を送信する工程と、

前記第1の制御部が、前記電源OFF要求に応答して、予め定められた前記第2の表示部で表示すべき情報を、前記第1のメモリから読み出して前記第2の制御部へ送信した後、自身の電源をOFFする工程と、

前記第2の制御部が、前記第1の制御部から受信した前記第2の表示部で表示すべき情報を前記第2のメモリに保存した後、自身の電源をOFFすることにより、前記表示装置を前記スタンバイ状態にする工程と、

前記スタンバイ状態において、前記表示装置を電源ON状態にする指示を受信すると、前記第2の制御部の電源をONする工程と、

電源をONされると、前記第2の制御部が、前記第1の制御部に電源ON要求を出力するとともに、前記第2のメモリから前記第2の表示部で表示すべき情報を読み出し、前記第2の表示部に表示させる工程とを有することを特徴とする表示装置の制御方法。

【請求項6】

第1の表示部と、第2の表示部と、前記第1の表示部の制御を行う第1の制御部と、前記第2の表示部の制御を行う第2の制御部と、前記第1の制御部からアクセス可能な第1のメモリと、前記第2の制御部からアクセス可能な第2のメモリと、を備え、前記第2の制御部の起動に要する時間は、前記第1の制御部の起動に要する時間よりも短い表示装置の制御方法であって、

前記表示装置を、電源ON状態からスタンバイ状態にする指示を受信すると、

前記第2の制御部が、前記第1の制御部に対して電源OFF要求を送信した後、自身の電源をOFFする工程と、

前記第1の制御部が、前記電源OFF要求に応答して、予め定められた前記第2の表示部で表示すべき情報を前記第1のメモリに保存した後、自身の電源をOFFすることにより、前記表示装置を前記スタンバイ状態にする工程と、

前記スタンバイ状態において、前記表示装置を電源ON状態にする指示を受信すると、前記第2の制御部の電源をONする工程と、

電源をONされると、前記第2の制御部が、前記第1の制御部に電源ON要求を出力する工程と、

前記第1の制御部が、前記電源ON要求に応答して、前記第1の制御部の起動処理に先立ち、前記第2の表示部で表示すべき情報を前記第1のメモリから読み出して前記第2の制御部に送信する工程と、

前記第2の制御部が、前記第1の制御部から受信した、前記第2の表示部で表示すべき情報を前記第2のメモリに保存するとともに前記第2の表示部に表示させる工程とを有することを特徴とする表示装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上述の目的は、第1の表示部と、第2の表示部と、第1の表示部の制御を行う第1の制御部と、第2の表示部の制御を行う第2の制御部と、第1の制御部からアクセス可能な第1のメモリと、第2の制御部からアクセス可能な第2のメモリと、を備える表示装置において、第2の制御部の起動に要する時間は、第1の制御部の起動に要する時間よりも短く、表示装置を電源ON状態からスタンバイ状態にする指示を受信すると、第2の制御部から、第1の制御部に対して電源OFF要求を送信し、第1の制御部が、電源OFF要求に応答して、予め定められた第2の表示部で表示すべき情報を、第1のメモリから読み出して第2の制御部へ送信した後、自身の電源をOFFし、第2の制御部が、第1の制御部から受信した第2の表示部で表示すべき情報を第2のメモリに保存した後、自身の電源をOFFすることにより、表示装置をスタンバイ状態にし、スタンバイ状態において、表示装置を電源ON状態にする指示を受信すると、第2の制御部の電源をONし、第2の制御部は、電源がONされると前記第1の制御部に電源ON要求を出力するとともに、第2のメモリから第2の表示部で表示すべき情報を読み出し、第2の表示部に表示させることを特徴とする表示装置によって達成される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上述の目的は、第1の表示部と、第2の表示部と、第1の表示部の制御を行う第1の制御部と、第2の表示部の制御を行う第2の制御部と、第1の制御部からアクセス可能な第1のメモリと、第2の制御部からアクセス可能な第2のメモリと、を備える表示装置において、第2の制御部の起動に要する時間は、第1の制御部の起動に要する時間よりも短く、表示装置を、電源ON状態からスタンバイ状態にする指示を受信すると、第2の制御部が、第1の制御部に対して電源OFF要求を送信した後、自身の電源をOFFし、第1の制御部が、電源OFF要求に応答して、予め定められた第2の表示部で表示すべき情報を第1のメモリに保存した後、自身の電源をOFFすることにより、表示装置をスタンバイ状態にし、スタンバイ状態において、表示装置を電源ON状態にする指示を受信すると、第2の制御部の電源をONし、第2の制御部は電源がONされると、前記第1の制御部に電源ON要求を出力し、第1の制御部が、電源ON要求に応答して、第1の制御部の起動処理に先立ち、前記第2の表示部で表示すべき情報を第1のメモリから読み出して第2の制御部に送信し、第2の制御部が、第1の制御部から受信した、第2の表示部で表示すべき情報を、第2のメモリに保存するとともに第2の表示部に表示させることを特徴とする表示装置によっても達成される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】**【手続補正6】**

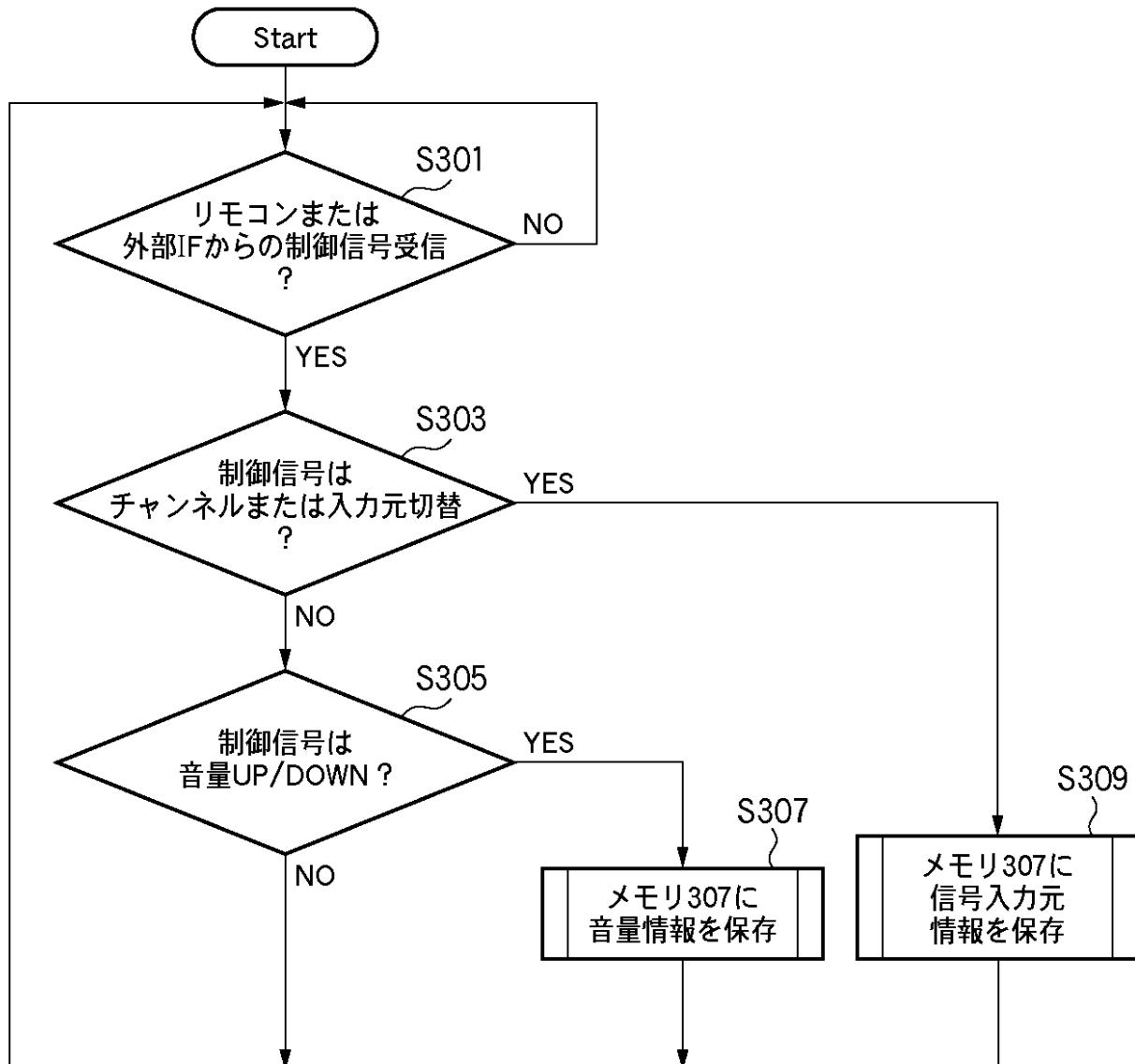
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】



【手続補正7】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

